

第70回日本ハンドボール選手権大会（男子の部）

戦況用紙

日時 2019年1月31日（木）

場所 山鹿市総合体育館（Aコート）

回戦 3回戦

A 14 湧永製薬 (JHL) ● 27 $\begin{pmatrix} 13 - 12 \\ 14 - 17 \end{pmatrix}$ 29 ○ 東京トライスターズ (東京都)

戦況	前 半	立ち上がり両チームともに動きが硬かったが、森下の速攻で東京が先制する。攻撃のリズムがなかなか作れない湧永製薬に対し、東京は相手ミスに乗じた速攻等でペースを掴み、15分過ぎまで5対5の互角の展開に持ち込む。しかし、16分に東京は退場者を出してしまい、リズムが狂う。後藤が7mTを3連続で成功させた湧永製薬が、この試合最大となる4点のリードを奪う。対する東京は、直後のタイムアウトで落ち着きを取り戻すと、三輪のサイドシュートなどで3連取して湧永製薬を猛追、1点ビハインドまで追い上げて前半を折り返す。
	後 半	後半開始早々に東京は退場者を出す苦しい出だし。しかし、このピンチを凌ぐと檜垣のミドルシュート、細川→中井のスカイプレーで連取、逆転に成功する。対する湧永製薬は矢田、小賀野らの4連続得点で再逆転する。その後は、湧永製薬は成田のミドルシュート、東京は豊本、檜垣らの活躍で、一進一退の攻防が繰り広げられる。試合が動いたのは18分過ぎ、連続得点で東京が再々逆転に成功すると、そのまま勢いに乗り、この日13得点と大活躍の豊本らが着実に加点し、追いつがる湧永製薬を振り切った。

記入者

三村 圭司